

**関西
ステンレス**

品薄で動意台頭、ジリ高基調

(大阪) 関西地区のステンレススクラップ相場はジリ高基調。旧盆明け以降は荷動きが一段と鈍化するうえ、円安を背景に海外の需要家が日本玉の引き合いを強めるなど市中の品薄感が際立つ格好にあり、内外の一部で買値引き上げの動きが台頭している。国内ミルの需要減が長期に及ぶため上げ足は鈍いのが実情だが、目先は現物確保を巡り市中値も切り上がる公算が大きい。

西日本地区の国内ミルの買値は \yen 175~185円見当で変わらず。高炉系大手などは最終ユーザーからの受注が伸び悩んだままで9月の生産計画も下方修正。直納筋らに数多く購入枠の4割カットを今月も継続する。ただ、先行きはスクラップの使用比率を高めていく動きが聞かれ、「一律ではないが10月以降は3割減に緩和される見込み」(複数の直納筋) だと言う。これを受け、ある直納筋は「4割制限が3割に緩和された場合、数字上はそれほどのインパクトはないが、兼ねてからの輸出流出と発生枯渇でナイモ高の傾向が強まるおそれがあり、潮目が変わりつつある」と指摘する。

一方、韓国向け輸出大手のSUS304新切れの仕切り

値は表面上175~185円見当で変わりはないが、先週末から今週にかけて個別で買値を上乗せする動きが伝えられる。ある納入筋は「足元は限定的な値上げだとしても、この先需給双方に値上げ機運が高まっていくことは時間の問題だ」と語る。また、足元はSUS316とクロムスクラップの集荷意欲が強く、一部でスポット高値を提示している模様だ。

LMEニッケル・ステンレススクラップ相場推移

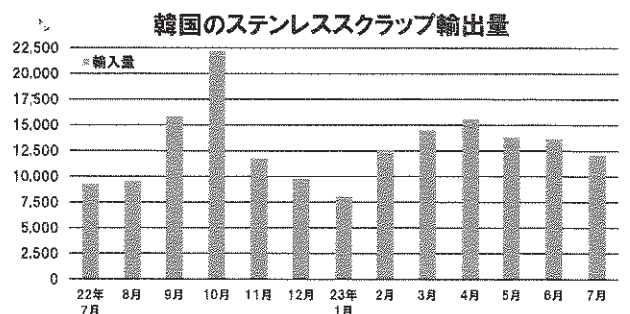
	LMEニッケル相場 (月平均) \$/MT	LME Ni在庫 (期末/t)	ASIA・SABOT \$/MT	フェロクロム相場 高炭素品・ ϕ /LB	為替相場 (TTS)
2020年平均・合計	13,773	246,708	1,198	118.75	107.82
2021年平均・合計	18,478	101,886	1,659	160.38	110.80
2022年平均・合計	25,638	55,476	1,929	189.25	132.43
2023年1月	28,240	49,374	1,730	157.00	131.35
2月	26,690	44,148	1,660	157.00	133.75
3月	23,307	44,364	1,490	157.00	134.92
4月	23,757	39,918	1,470	180.00	134.40
5月	22,230	37,782	1,460	180.00	138.43
6月	21,193	38,850	1,440	180.00	142.27
7月	20,898	37,536	1,410	159.00	142.30
8月	20,498	37,194	1,430	159.00	145.84
9月	20,513	37,170	1,430	159.00	147.00

※9月は4日までの平均値

韓国SUS ϕ 輸出量 6カ月連続の1万超え 7月1万2千 ϕ

韓国のステンレススクラップ輸出量が6カ月連続の1万 ϕ 超えとなった。韓国貿易統計によると、7月の輸出量は前月比10.0%減、前年同月比30.6%増の1万2139 ϕ だった。韓国大手ミルの制限購入を背景に、最大の向け先地であるインド向けが高水準を保ち、8カ月連続で前年実績を上回った。

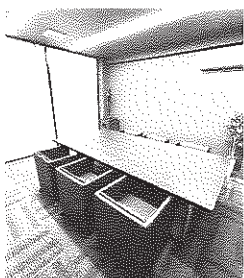
国別ではインド向けが最多で、同6.2%減、同52.2%増の1万263 ϕ 。4カ月連続の1万 ϕ 超えとなり、全体量の8割超を占めた。次いで日本向けが同26.4%減、同57.6%減の743 ϕ だった。



1~7月の累計輸出量は9万434 ϕ で、前年同期比48.0%増となった。

富士興産、大正工場・倉庫の事務所棟を大幅リニューアル

(大阪) レアメタルやレアアースのリサイクル事業を手掛ける富士興産(本社=大阪市浪速区、赤嶺和俊社長)はこのほど、主力拠点の大正工場・倉庫(大阪市大正区)の事務所棟の2、3階を大幅に増改築工事を行った。

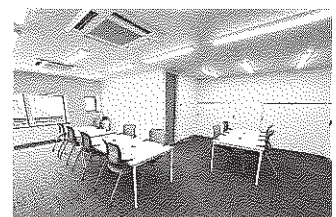


応接室

同社では昨年から社員が増え、同拠点の更衣室や休憩室が手狭になっていた。このため働き方改革の推進の一環として、リニューアルを決めた。

事務所棟は快適な職場環境の向上のため、社員が気持ち良く働けるように配慮した明るく広

いリフレッシュスペースを設置したほか、分煙対策で喫煙ルームを設けた。また訪問客が増えていることから、商談や会議などにも使用できる応接ルームも新たに設置した。



リフレッシュスペース

社員にも事務所棟のリニューアルは好評で、赤嶺社長は「リフレッシュスペースには無料で飲める飲料を備えており、休憩やランチタイムに楽しく集まる社員の姿を見るようになった。環境が変わったことにより社員の気持ちも変化し、日々の業務が活気づいてきていると実感している」と語る。